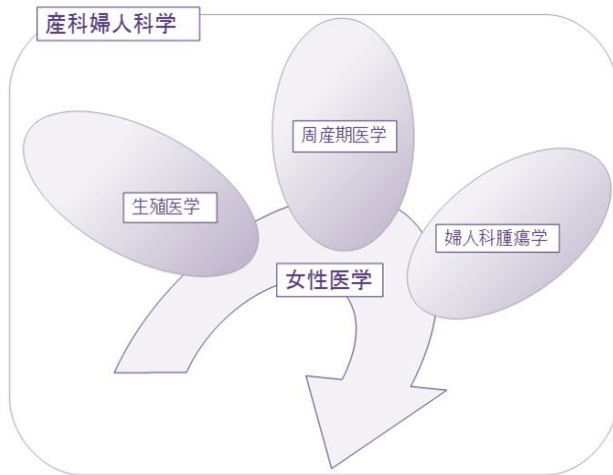


女性医学って何？

今回は「女性医学」についてご紹介しようと思います。

女性医学といっても言葉は簡単ですが、何のことだかぴんとこないかもしれません。

私たち産婦人科医が所属する日本産科婦人科学会には、産婦人科学という専門領域の下に、更に専門分化した医学の領域が4つあります。女性医学とは「女性に特有な病気を予防の観点から取り扱う医学領域」とされ、周産期医学、産婦人科腫瘍学、生殖医学に続く4つ目の専門分野として認められています。



- (1) 周産期医学: 妊娠分野を中心
- (2) 産婦人科腫瘍学: 子宮や卵巣にできる腫瘍を治療
- (3) 生殖医学: 不妊治療を中心とする
- (4) 女性医学: 女性のヘルスケア

女性医学を研究する産婦人科医の集まりである女性医学学会は、もともと「更年期学会」という名前でした。

更年期とは閉経前5年、閉経後5年あわせて10年間をさしており、更年期障害をはじめとする中高年女性が遭遇するさまざまな病気に対してあらかじめ準備できることを研究する分野でした。

ところが研究が進むうち、更年期にとどまらず、それ以前の思春期、性成熟期、それ以降の老年期においても各時期に合わせた特徴をよく考慮した予防的な診療を行うことで骨粗しょう症と骨折、心筋梗塞、脳梗塞、糖尿病、認知症などの病気を防いでもっと健康に一生を過ごせる可能性が指摘されるようになったのです。

そこで更年期から対象年齢を上下に広げていくようなイメージで、「女性医学」という言葉が生まれました。

女性の一生を通じて、他の3つの分野と連携して相互に役立つことができます(図)。

女性医学を特徴づける重要な鍵は女性ホルモンにあり、その働きは月経の動きとして現れます。

月経の乱れでお悩みの際はお気軽にご相談ください。当方は女性医学学会専門医を取得しております。

また女性医師の外来も受けることができます。



(産婦人科診療部長 鏡 一成)

